

岡崎市の西の玄関、みんな明るく元気な街

矢作西学区

YAHAGINISHI



こんな「ふるさと矢西」になったらいいな

魚がたくさん泳ぐきれいな鹿乗川

☆矢作西小学校6年生72名に聞きました☆

子ども、若者、お年寄り、みんな仲がよくて
祭りを学区民で盛り上げる、にぎやかな町



お年寄りや
子どもに
やさしい町

高齢者施設の横に、緑と花
を楽しみ、ゆっくり散歩でき
る公園が広がる。そこにある
遊具で子どもたちが遊び、お
じいちゃん、おばあちゃんが
笑顔で見守っている。

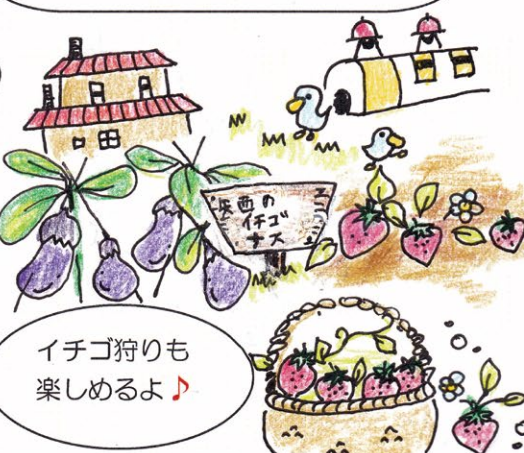
- バリアフリーの町
- 車、自転車、歩行者専用レーン
のある道路
- 明るくて音楽の流れる♪地下道

イチゴとナスの町



イチゴとナスのキャラクター
「イチッチー&ナッシー」
ふるさとキャラコンテスト
全国1位!

イチゴとナスの「フード
テーマパーク」大盛況!



イチゴ狩りも
楽しめるよ♪

総代、元総代、元教員、歴史研究家、写真愛好家などからなる作成委員全員で、学区が誇る歴史・
たからもの・地域活動等を整理し、検討会を重ねて一冊にまとめました。主要なものはほぼ網
羅できたと思います。この「岡崎まちものがたり」を読まれた皆さんが、矢作西学区の歴史やた
からものを再認識し、郷土を知る一助になれば幸いです。

〔作成委員会〕上瀧八朗/高木良和/井上正則/神谷信夫/衣川真澄/山本敏一/斉藤伸一/中山昌司/
佐藤孝子/近藤英男/杉浦務/猪飼正幸/近藤健次/九澤勝/杉浦鏡司

〔協力〕中根治久(写真撮影)/カジヤマテルヨ(イラスト)

〔参考資料〕うとう坂/矢作町誌/矢作町誌(大正版)/矢作町の歴史/岡崎市史/矢作資料編

〔表紙写真〕空から見た矢作西小学校、昭和7年建立の二宮金次郎像、旧校舎玄関・校長室を移築保存した江西館

矢作西学区 まちのなりたち

矢作西学区のあゆみ

矢作西学区には、古代天皇の皇子五十狹城入彦皇子の御墓とされる「和志山古墳」ほか、多くの古墳があります。古代、わたしたちの学区は、この皇子を主にいただく豪族の根拠地だったと考えられています。平安時代には宇頭北町の薬王寺が『本朝文粹』に記述され、また西本郷町には立派な大日如来像が造られるなど、この地には文化が開いていました。

しかし、中世の武士の時代になると、交通の要所であったこの地域は、平安時代末の源平の争い、室町時代の南北朝の争い、戦国時代の織田・今川の戦いにより、

兵火で焼かれてしまいました。

江戸時代となり平和が訪れます。わたしたちの学区は、天領、岡崎藩領、旗本の知行地領と寺領に分割され、人々はそれぞれの領主に年貢を納めるという生活が続きま

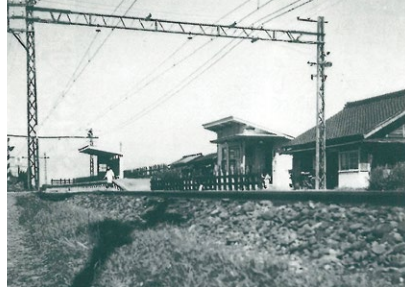
した。明治時代に入ってもその分割の影響が残り、現在の学区が確定したのは1960年（昭和35）です。私たちは古代に花開いた文化に誇りを持ち、それを受け継いで、心豊かで幸せに暮らせる学区にしたいと考えています。

DATA

□人 □ 6,462人
男性 3,368人
女性 3,094人
□世帯数 2,626世帯
□面積 1.93km²
[2016年7月1日現在]



新旧の東海道／左は現在の国道1号。右は昭和10年頃。宇頭町の大堀クリニック付近から西方を眺めたもの。昔と比べると道幅が大きく拡張されている



新旧の名鉄宇頭駅／左は現在の名鉄宇頭駅。右は昭和30年頃



薬王寺／行基による開山と伝わる古刹。中世の戦乱で焼け、江戸時代に現在地に再建された

一九六二年 ■ 昭和37
一九七一年 ■ 昭和46
一九七六年 ■ 昭和51
一九八〇年 ■ 昭和55
一九八二年 ■ 昭和57
一九八五年 ■ 昭和60
一九八六年 ■ 昭和61
一九八九年 ■ 平成1
一九九〇年 ■ 平成2
一九九一年 ■ 平成3

一九九六年 ■ 平成8
一九九九年 ■ 平成11
二〇〇一年 ■ 平成13

二〇〇三年 ■ 平成15
二〇〇五年 ■ 平成17

二〇〇七年 ■ 平成19
二〇一〇年 ■ 平成22
二〇一四年 ■ 平成26

碧海郡宇頭村が志貴村に、碧海郡西本郷村が本郷村になる

碧海郡矢作町発足、大字宇頭、大字西本郷となる

愛知電気鉄道の宇頭駅が開業

矢作第一尋常小学校が開校

和志山古墳が五十狹城入彦皇子（氣入彦命）の御墓と治定される

矢作町立矢作西小学校となる

碧海郡矢作町が岡崎市に編入、岡崎市立矢作西小学校となる

和志取神社の新しい拝殿が完工

柿碕、尾崎、宇頭茶屋、橋目西地区が安城市に編入

市営東山住宅、和志山住宅が人口対策として作られる

矢作西保育園が開園

矢作西交友会が発足

西本郷町公民館が完工

釜ノ口地区の区画整理事業にともない宇頭南町が誕生

北裏地区の区画整理事業にともない宇頭北町が誕生。宇頭町公民館が完工

矢作西小学校の旧校長室を移築、資料を展示する「江西館」となる

矢作西学区市民ホームが完工

矢作西学区こどもの家が完工

宇頭神明社に13社の末社拝殿を造営

矢作西小学校が全日本環境緑化コンクールにおいて

特選受賞（文部科学大臣賞）、日本一となる

矢作西小学校がクリーン・グリーン活動を開始

宇頭公園が完工

矢作西小学校が鹿乗川清掃奉仕活動を開始

家下地区の区画整理事業にともない宇頭東町が誕生

矢作西小学校が緑化運動功労者として内閣総理大臣賞を受賞

矢作西学区防犯・安全パトロール隊が発足

矢作西学区児童育成センターが完工

和志取神社神楽保存会から「こども神楽」に変わる

薬王寺の庫裡が新築

矢作西小学校に新プールが完工。安城市のあんくるバスの学区乗入れが開始

西本郷町の田園風景／ビニールハウスではイチゴ、ナスが栽培されている



現・市営和志山荘／奥に現・市営東山荘も見える



和志取神社／祭神は五十狹城入彦皇子。古くより守り神と年4回の大祭では浦安の舞などが奉納される



して崇敬されている。



和志山古墳／4世紀末頃に築造された全長約60mの前方後円墳。五十城入彦皇子の御墓として宮内庁が管理



矢作西学区

まちなものがたりマップ

学区に点在する名所や、人びとの暮らしを支えるさまざまな施設を紹介します。



A 鹿乗川
矢作西小児童と学区民が清掃を行っている



C 北野用水西本郷チェック工
用水上には遊歩道を整備



B 国道1号地下道
矢作西小の卒業制作の壁画が展示されている



E 岡崎市西部学校給食センター



D 中部電力岡崎変電所



F 矢作西保育園



イチゴの栽培ハウス



ナスの栽培ハウス



農業基盤整備が行われた西山地区



J 聖善寺
春には推定樹齢400年のしだれ桜
(市指定天然記念物が咲く)



G 矢作西学区こどもの家



H 矢作西児童育成センター



I 宇頭山観音寺



L あんくるバス宇頭駅南バス停
安城市の公共バスが乗り入れている



N 蓮華寺



K 宇頭町公民館



M 矢作西学区市民ホーム

矢作西学区

まちのたからもの

多彩な地域活動

学区盆踊り大会

毎年8月12・13日に開催される盆踊り大会は、8月初めのやぐら組み立てから始まり、準備開始は朝6時。体育振興会を中心に各種団体から50人前後が集まり、手際よく組み立てていきます。完成は一日がかり、設計図は毎年引き継が



盆踊りのやぐら組み立て

れます。照明や電気設備も学区民の協力を得て行っています。7月後半からは盆踊りの練習会。伴奏の太鼓も受け継がれます。広報・啓発には看板や回覧板のほか、スピーカーを付けた軽トラックでの巡回を行っています。近年は、岡崎城西高校和太鼓部の迫力ある演奏、ビンゴゲーム、グレート家康公「葵」武将隊の演武、仮装大会、お楽しみ抽選会などが行われます。約千人の住民が参加して大いに盛り上がり、地域の大切な行事となっています。

盆踊り仮装大会



学区連合大運動会

5月下旬に小学校と地域が一体となって取り組んでいます。準備・競技・後片付けを協力して実施することは、とかく繋がり薄いながらも、素晴らしい試みであると言えます。



矢作西学区連合大運動会

最近では、万国旗と共に「こいのぼり」を掲げています。たくさんの鯉が5月の青空に泳ぎ、見上げる子どもたちに

は満面の笑みがみられます。

運動会は、市民体育祭の選手選考にも役立っています。平成26年度は第3ブロックで優勝することができ、賞状・優勝旗・トロフィーは宇頭公民館・西本郷公民館・矢西小学校にそれぞれ期間を設けて展示しました。

学区防災・避難訓練

近年、各地で地震や津波、ゲリラ豪雨などの災害が多発し、東海地震も遠からず発生すると危惧されています。そこで、これまでの屋外での訓練に加え、小学校の体育館に避難所を開設し、けが人の応急処置や運搬法、簡易トイレの作り方や個別スペースの展示等を実施するようになりまし。中学生も参加し、体験を通して防災意識を高めるようにしています。



簡易トイレの設置方法を学ぶ



担架によるけが人運搬の訓練

学区敬老会

高齢者一人一人に小学校1・2年生が付き、肩たたきをしたり折り紙や手紙を渡しています。高齢者の皆さんと小学生の交流は実にほほえましいです。また、小学校音楽部の発表や各種団体の舞踊、大正琴の演奏などの余興も披露され、大好評です。

小学生から肩叩きのプレゼント



学区

大日堂と大日如来坐像

西本郷町の大日堂には、岡崎市指定文化財の「木造金剛界大日如来坐像」や「木造聖観世音菩薩立像」をはじめ、いくつかの仏像が安置されていることが知られています。これらの仏像の多くは、明治時代以前までは和志取神社に安置されていたが、明治維新後の神仏分離令により、一時は蓮華寺に移されました。

近年、仏像の虫食いによる破損が心配されるようになりました。そこで2011年（平成23）に大日如来座像の大修理が行われました。



木造金剛界大日如来坐像



和志取神社の東に建つ大日堂

西本郷

宇頭

宇頭神明社

宇頭町の鎮守として崇敬される神社です。天照大御神を主祭神とし、日本武尊と気入彦命を併祀。奈良時代の715年ごろ別の地に建立され、江戸時代の1788年（天明8）ごろ今の地に移されました。

神明社本社の隣には、天満社、社口社、稲荷社、津島社、山神社、若宮社、熊野社、御立社、疫神社、桃桜姫社、

宇頭神明社参道の桜並木は、紀元二六〇〇年を記念して翌1941年（昭和16）に植えられました。市民ホームと宇頭公園が隣接しており、毎年10月3日の大祭にはこの参道に多くの屋台が並び、華栄会による奉納手筒花火が盛大に催されています。



1 宇頭神明社の拝殿 2 13の末社

3 毎月3日に行われる月次祭

4 参道の桜並木 5 奉納手筒花火



5 奉納手筒花火